

HANAMIZUKI

はなみずき

学報 Vol.37

2013年

山陽女子短期大学

〒738-8504 広島県廿日市市佐方本町1-1
TEL(0829)32-0909 FAX(0829)32-0981

<http://www.sanyo.ac.jp>

発行責任者 石永 正隆

印刷 新和印刷有限会社

学校法人山陽女学園 山陽女子短期大学 創立50周年記念式典



生命の起源? ミクロスフェア micro 小さな + sphere 球



長沼が高校のときの
生物の教科書に載ってた
フォックスと原田の
ミクロスフェア(1959)

原田 馨 著
『生命の起源』(1977)
長沼 16歳(高1)

記念講演
地球から宇宙にひろがる生命
山陽女子短期大学生物科学部 長沼 毅 先生



50周年を迎えて

学長 石永 正隆

山陽女子短期大学は、山陽女学園の高等教育機関として初代の石田 米子 学長によって1963年に現在の廿日市市佐方に設立され、それから半世紀が経ちました。

常に一人ひとりを大切に思い、社会の発展に貢献できる女性の育成をめざして、教育を行って参りました。

当初は、家政科、2年後に国文科、その次の年に食物栄養科が設置されました。1968年に附属幼稚園が設置されましたが、週に1回食物栄養科が給食を提供するようになり、これは我が短大の大きな特徴となっています。2007年には、本学の基盤を盤石にすべく、新たに臨床検査学科を専門学校から短大に組み入れ、人間生活学科・食物栄養学科と合わせて3学科と致しました。また、2012年に専攻科(診療情報管理専攻)を開設しました。

今日まで、9000名近くが山陽女子短期大学を巣立ち、社会に貢献しています。このように伝統を受け継ぎ、今ここにあるのは、多くの皆様方のご支援によるものであり、また、地域の方々に温かく見守って頂いていることによるものと、心から感謝を申し上げます。

1980年代までは、短期大学は大きな波をかぶることも無かったのですが、1990年代になると規制緩和の時代に突入し、時代の波をかぶり試練の時を迎えました。多方面から支援を賜りながら、試練を乗り越え今日に至っております。

男女共学化そして4年制大学への移行が相次ぐ中、初代学長の意志を受け継いで女子短期大学を選択して参りました。これから先、少子化が益々進行していきます。そして、短大を取り巻く状況は厳しくなっていますが、私たちは新たな決意を持って一步を踏み出したところです。

地域の高等教育機関であるという原点に立ち返りつつ、地域密着型の短期大学として堅実な教育を行って、社会の発展に貢献する所存であります。幸いにもこの8月に、廿日市市と包括的連携協力の協定を結ぶことができたことは、これからの歩に大きな励みとなります。眞野市長様はじめ関係者の皆様にお礼申し上げます。

志を高く、一人ひとりを大切に思い、心配りをしながら、短期大学の特徴を活かし、「愛」・「優」・「輝」をモットーとして、教育に邁進する所存でございます。

何卒今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。





創立50周年記念式典・記念講演会を開催しました

山陽女子短期大学50周年記念式典と記念講演会が、9月14日(土)に、多くのご来賓のご臨席のもと、廿日市文化ホールさくらびあ 大ホールで、賑々しく開催されました。

記念式典は、午後1時に開会。学校法人山陽女学園を代表して、石田 孝樹 理事長から、50年の間、本学をご支援いただいた多くの方々に対する感謝の挨拶があり、山陽女子短期大学を代表して石永 正隆 学長から、山陽女子短期大学50年の経緯と現況に触れた上で、地域密着型の短期大学として進んでいく決意を表した挨拶がありました。

壇上にご列席のご来賓の方々の紹介の後、平口 洋 衆議院議員様(学校法人山陽女学園評議員)から、本学の建学の精神、教育理念に触れながら、社会に貢献する人材の育成に努めた本学の功績を称えたお祝いのことを賜りました。続いて、湯崎 英彦 広島県知事様(代理 中山 雅文 広島県環境県民局長)から、本学の50年にわたる教育に対する祝辞を賜り、地元廿日市市の眞野 勝弘 市長様からは、地域の短期大学として長年の功績への賛辞、本年締結された包括的連携に関する協定を機に一層連携が緊密になることに対する期待を込めた祝辞をいただきました。最後に、同窓会を代表して奥野 静香 山桜会会長の祝辞があり、石田 米子 初代学長が作られた短歌が披露されました。

式典は、続いて、祝電の披露の後、学園歌の演奏をもって、厳粛なうちに閉会しました。

しばらく休憩があった後、一般者も入場して、記念講演会が開かれました。題目は「地球から宇宙にひろがる生命」、講師は広島大学大学院生物圏科学研究科 准教授の長沼 毅 氏。自身の科学者への道のりをたどりながら、ユーモアを交えて分かりやすく、チューブワームという特殊な生命体を手がかりに、宇宙生命発見の可能性について語られた講演は、たくさんの聴衆を魅了しました。



平口 洋 衆議院議員



湯崎 英彦 広島県知事(代理 中山 雅文 広島県環境県民局長)



眞野 勝弘 廿日市市長



奥野 静香 山桜会会長

学 外 実 習 等

インターンシップ

人間生活学科 医療事務コース 2年 二宮 静



私は、夏季休業中の2週間、山口県厚生農業協同組合連合会 周東総合病院において、医療事務の実習をさせていただきました。

実習では、普段の授業では学ぶことが出来ない患者様とのやりとりや電話対応など、貴重な経験をさせていただきました。また、日々の勉強が如何に大切であるかを改めて認識することができるとともに、今後の課題を見つけることができました。

実習を終えて感じたことは、患者様に親身になって寄り添うことにより、患者様から感謝の言葉を言っていた、自信や達成感など満ち足りた気持ちになることです。さらに様々な所に目を向け、医師・看護師の負担を軽減し、医療の質向上のために貢献しておられる先輩方の働きを実際に拝見することができ、私もこのように医療の現場で活躍する人材になりたいという気持ちが一層高まりました。将来、即戦力として医療事務の仕事に就けるよう今後、一層勉強に励みたいと思いました。

インターンシップ

人間生活学科 オフィス情報コース 2年 山口 恵理



私は、図書館の仕事に興味があり、今回「広島市まんが図書館」で実習をさせていただきました。

実習前は、パソコンに向かって座る事務的な作業が殆どだと思っていたのですが、返却された本を本棚に戻す作業や、開館前の準備など身体を動かすことも多かったことに驚きました。

今回、職業体験として社会の現場の空気に触れることができ、接客マナーやお礼状の書き方なども大変勉強になりました。図書館の職員の皆様には大変温かくご指導頂きましたが、私自身もっと積極的にしなければいけないと感じました。

2日間という短い間でしたが、アルバイトとはまた違った貴重な体験で、自分自身を見つめ直す良いきっかけにもなり、実習に参加して本当に良かったと思いました。

栄養士校外実習

食物栄養学科 栄養管理コース 2年 益井 千尋



私は、府中みどり園で5日間、特別養護老人ホームにおける栄養管理、厨房での昼食準備、嗜好調査など栄養士の実習をさせていただきました。

実習を始めて3日目には自分たちが献立作成したおやつを作って提供し、喫食者の方ほぼ全員が「おいしい」「固さ・飲み込みやすさも良い」と言ってくれました。「ありがとう」という言葉までもらえてうれしく思い、栄養士をめざして良かったと思いました。

また、楽しみがあると生きがいにもつながると感じ、「食」での楽しみを提供し、生きがいにつなげていくことも栄養士の大切な仕事だと感じました。

5日間の実習で、栄養士としての現場の役割を知ると同時に、大学の実習や机上では学ぶことができない多くの貴重な体験を積むことができました。今回学んだことを活かして、自分のめざす栄養士になれるよう意識を高く持ち、励んでいきたいと思います。

臨地実習

臨床検査学科 臨床検査コース 3年 清 美沙紀



私は4月から約5か月間、中電病院で臨地実習をさせて頂きました。最初は、不安で一杯でしたが、とても丁寧に優しく指導してくださいました。

病院実習では学内実習とは違い一つの検査だけでなく、検体の向こう側にいる患者様の存在や臨床検査技師としての責任を感じ、医療人としての自覚を持つことが出来ました。

また、臨床検査のことだけでなく、薬剤科や放射線科などとの関連を学ぶために、他部門の見学をさせて頂き、チーム医療の重要性を実感することが出来ました。

私も指導して頂いた技師さんのように業務を迅速に行い、患者様の事を第一に考える臨床検査技師をめざしています。そして、病院実習を通して学んだことを活かし、国家試験合格をめざして日々精進したいと思います。



健康ランニング

食物栄養学科 栄養管理コース 2年 宗正 夏実



ー 平成25年9月1日(日) 天気 曇りのち雨 ー

この日は5か月間のトレーニング成果を十二分に発揮する日。楽しみと不安を抱えて大会会場へ向かいました。

スタートしてから3kmくらいまで、雨の中を走ることに慣れようと必死でした。『苦しい、きつい』とマイナスになる事を考えないようにして走りました。

折り返し地点を過ぎた人たちの中にさんじょのリストバンドを見つけると、ほっとすると同時に『頑張ろう、絶対にゴールしよう!』という気持ちになりました。

ゴールが見えてきて、先にゴールしたみんなが見えた時には泣きそうでした。指導してくださった先生、一緒に頑張ってきた仲間、大会運営スタッフの皆さん…様々な人たちの支えがあって完走できたのだと思います。

後期が始まって、今回の授業で培った『何事にも諦めずに最後までやり抜く』ことを大切にして頑張りたいです。



アウトドア演習

食物栄養学科 栄養管理コース 1年 北尾 梨沙



アウトドア演習に参加して、普段は感じることの少ない自然を感じることができました。

中でもネイチャーゲームでは、山の中の音を聞いて記号で表したり、人工物を草の中から探すゲームをしたりと、今までにやったことのないゲームばかりだったのでとても楽しかったです。虫の鳴き声や川の音も、意識して聞いてみるといろいろな音があり、同じセミでも音程やリズムが違うのだなと感じました。

今回のアウトドア演習を通して、「ウエルネス」の意味をより深く知ることができました。

「ウエルネス」とは「前向きに生きられること」で、身体的というより精神的なものの方が大きいのではないかと感じました。今回学んだことを活かしながら、今後も適度な運動とバランスのとれた食生活、十分な休養を心掛けていきたいと思います。



シスメックス訪問

臨床検査学科 臨床検査コース 2年 西村 裕美



今回、臨床検査機器や試薬を開発しているシスメックスを見学する機会を得ました。臨床の現場でも使われている機器を間近に見て、実際に触ることもでき、機器を使用しての検査の流れのイメージを膨らませることができました。そして、発売当初から現在までの展示機器を見比べてみると、医療は日々進歩している事を実感しました。

また、米国の病院で輸血部門に勤務されていた技師の方の講演「技師の国際化」はとても興味深いものであり、日本と米国の違いを詳しく説明してくださり、私にとっては新しい発見が数々あり、とても勉強になりました。実際に働いていた人の貴重な経験を聞くことができ、検査技師として働くであろう今後に活かしていきたいと思います。



日本臨床検査学教育学会学術大会

臨床検査学科 臨床検査コース 3年 浅田 佳奈



8月26日～28日に大阪で開催された日本臨床検査学教育学会学術大会に参加しました。

学生セッションにおいて、2年次の夏休みから取り組んでいた卒業研究について発表しました。卒業研究は自分たちの想定通りにいかないことも多く、最後までやり遂げられるのか不安になることもありました。しかし、先生からのご指導や仲間のおかげで最後まで続けることができました。

発表では緊張しましたが、貴重な体験となりました。また、他大学の発表を聞く中で、見やすいスライドを作ること、分かりやすく説明すること、適切に質疑応答に答えること、それぞれに工夫がされており、大変勉強になりました。この経験をこれからに活かしていきたいと思います。



地域連携(産官学)プロジェクト

ルバースを使用した開発

甘日市市吉和でルバーブジャム販売に携わる「家庭料理 つばき」【産】と、甘日市市環境産業部(商工労政課)【官】、そして本学【学】が連携して、ルバーブを使用したジャム製造に関する共同研究・開発・企画等を行っています。

ルバーブはシベリア原産のタデ科に属す、冷涼性の気候に適した植物です。日本では明治の初めごろ導入されましたが、酸味が強く普及せず、近年長野県、北海道などで栽培が盛んになり始めています。欧米ではパイやジャムとして一般的に用いられていますが、日本ではジャムとしての利用が注目されています。

吉和地区の新たな地域農産物としての育成が期待でき、地域の活性化につながればと考えています。



地域連携（ボランティア活動）

本学は、学生のボランティア活動を積極的に支援することとなりました。

現在まで、多数のボランティア参加要請が届いています。



佐方花いっぱい運動



佐方子ども餅つき大会

第39回 日本診療情報管理学会学術大会
学生セッションに参加しました

平成25年9月5日、第39回 日本診療情報管理学会学術大会学生セッション(つくば国際会議場)において、人間生活学科 医療事務コース2年生と専攻科(診療情報管理専攻)の学生が発表しました。

全国の日本病院会診療情報管理指定校の中では、最多の9演題を発表しました。応援の父母や1年生の参加もあり、緊張の中にも堂々と発表をしました。

連続の優秀賞は逃しましたが、多くの学会関係者や診療情報管理士の方々から励ましの言葉をいただき、満面の笑顔で帰りました。

また、会場では、診療情報管理士認定試験合格を祈念し、ゆるキャラの「うかる君」と写真撮影をしました。

一昨年2題、昨年6題(優秀賞1題)を発表し、年々演題数が増えてきました。来年は何題エントリーできるか、今から楽しみです。



保護者会のお知らせ

在学生の保護者を対象とした保護者を、今年度も実施する予定にしております。詳細につきましては、後日改めてご案内いたします。

多数のご出席をお待ちしております。

1. 期 日 平成26年3月21日(金・祝)
2. 会 場 山陽女子短期大学
3. 内 容 学生の指導体制(教務部・学生部)
就職支援体制(就職指導部)
チューターとの個人面談 他

Congratulations!

〔2013年4月～9月 検定試験合格者数〕

 ω [illegible]

第50回陽月祭を終えて

第50回陽月祭実行委員会 委員長
臨床検査学科 臨床検査コース2年 川島 李奈

今年、山陽女子短期大学は創立50周年を迎え、私たち陽月祭実行委員15名は50周年にふさわしく、素晴らしい陽月祭にしようと努力して参りました。

当日は雨の予報でしたが、私たちの思いが届いたのか、両日雨が降らずに開催することができ、本当に嬉しく思います。また、今年は昨年よりも多くの方にご来場いただくことができたので、今回の陽月祭を機に山陽女子短期大学の名をさらに多くの方に知っていただけたのではないかと期待しております。

私自身、陽月祭を開催するまで色々な事がありました。1年前、先輩方に委員長を任命された時は不安とプレッシャーで涙が止まりませんでした。また、日に日に難くなる臨床の勉強との両立で挫折しそうな時も多々ありました。

臨床検査学科で初の委員長、3つの部署の掛け持ちで、1年間とても辛かった時もありましたが、そんな時は実行委員の仲間、先生方、友達、両親がいつも支えてくれて全てを乗り越えることができました。

その結果、大成功させることができ、第50回陽月祭は50周年にふさわしい、本当に素晴らしい陽月祭になったと思います。

今回、陽月祭に力を貸してくださった先生方、在学生の皆さん、企業や他大学の皆さまに、言葉でどのように表現して良いのか分からないくらい感謝の気持ちでいっぱいです。本当に、本当に、ありがとうございました。

人間生活
学科

- 病院なんでもクイズ-コンピュータで医療事務
- 情報体験(写真加工、錯視など)
- 心理学体験コーナー
(心理テスト・箱庭・コラージュ・心理学実験)



●喫茶バザー



科展

専攻科

(診療情報
管理専攻)

- 診療情報管理専攻 & 病院管理研究会

食物栄養
学科

- あなたの食事バランスをチェックしませんか?
- ルバーブの紹介
- 食物栄養学科の学習やサークル活動などの紹介
- 食物バザー
- 加工バザー
- 模擬レストラン

臨床検査
学科

- あなたの心臓の傾きは?
- 身近な菌を見てみよう
- 身体のなかの世界

50th 陽月祭

